

平成27年6月23日

四国地方整備局

徳島河川国道事務所

ゲリラ豪雨に対応し、新しい通行規制基準を試行します。

～ 災害捕捉率の向上と通行止め時間の適正化 ～

○ゲリラ豪雨等、時間50mmを上回る降雨が、最近30年間で1.3倍に増加しているなど、近年、雨の降り方が局地化、集中化しています。

○こうした気象の変化から、突然の大雨により土砂災害等が発生し、道路が通行止めになるなど、従来あまり見られなかった形態の災害が増えています。

○今般、こうした気象や災害の変化に即応できるよう、直轄国道の一般道路において、新しい通行規制方法を試行します。ポイントは次のとおりです。

ポイント1：雨の降り方の強さ(時間雨量)に対応した通行止め基準を設定し、災害捕捉率を向上

ポイント2：過去の雨量データや災害履歴を踏まえ、連続雨量(累積雨量)の通行止め基準を最適化し、トータルの通行止め時間を適正化

【試行導入区間】

路線番号	区間	連続雨量(累積雨量) の通行止め基準	雨の降り方の強さ(時間雨量) に対応した通行止め基準	
			連続雨量	時間雨量
国道32号	祖谷口	250mm	160mm	50mm

○期間：6月23日より適用

お問い合わせ先（○主な問い合わせ先）

国土交通省 四国地方整備局 徳島河川国道事務所 電話 088-654-2211（代表）

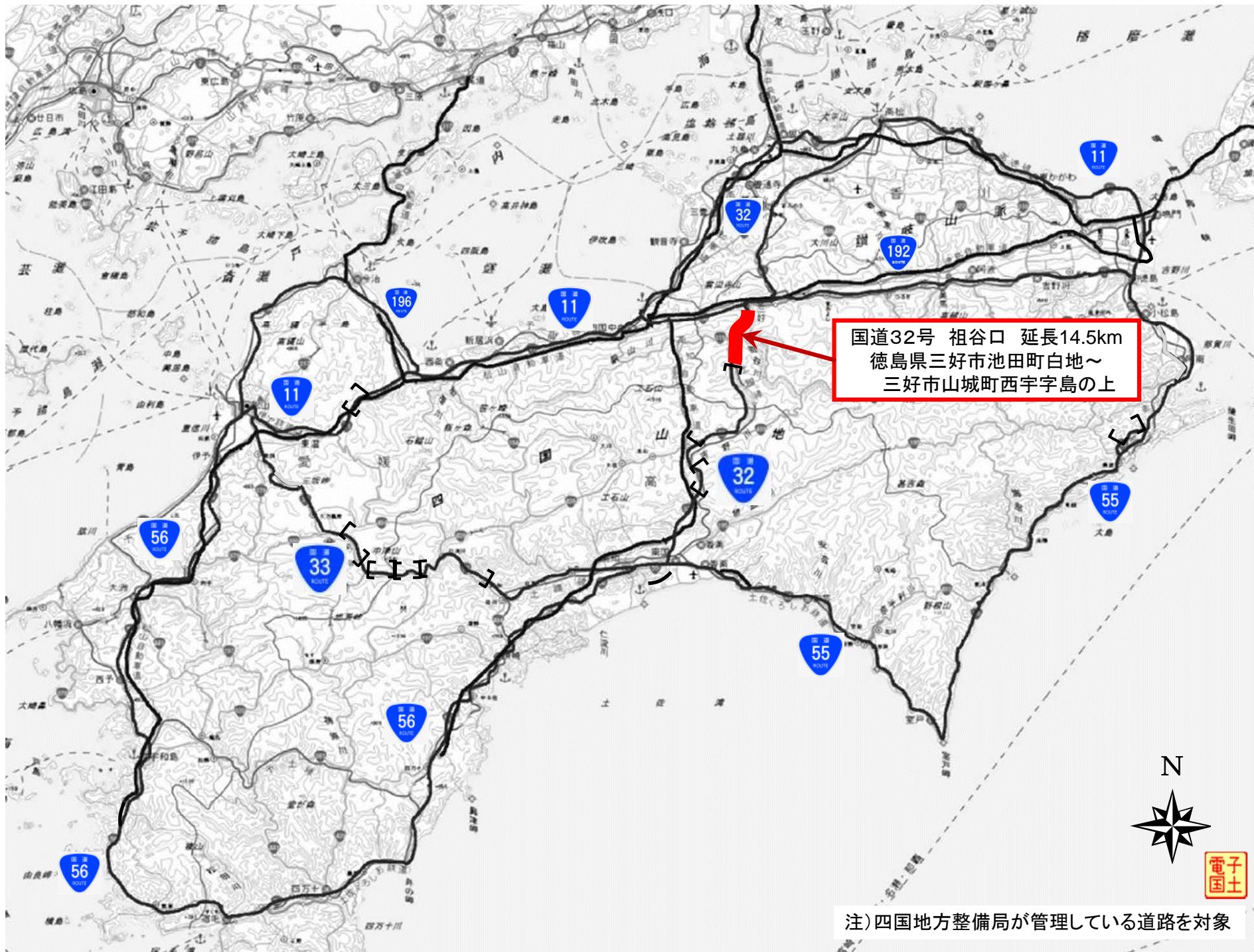
○事業対策官

庄野 達也（内線）308

道路管理第一課長

古賀 庸展（内線）431

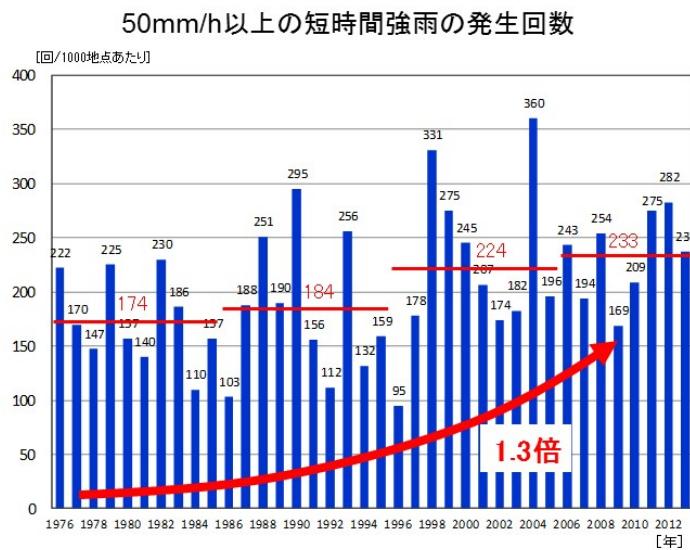
新しい通行規制基準の試行区間箇所図



(参考) 短時間強雨の発生状況

1. 増加する短時間強雨

- ・時間50mm/h以上の短時間強雨の発生件数は、1970年代に比べて、2000年代は約1.3倍に増加。



出典)気象庁

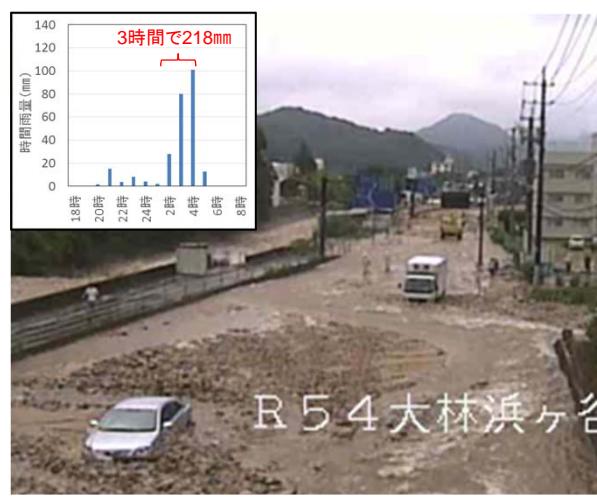
2. 短時間強雨による災害

- ・短時間強雨の発生増加にともない、各地で土砂災害等による通行止めが発生し、通行車両が巻き込まれる事態も発生。



H25.8.9 国道46号 岩手県雫石町

- ・5時間降水量が平年の8月1ヶ月間の降水量の206mmを超える216mmを記録。
- ・国道46号の9箇所で土砂流出や冠水などの災害が発生し、3日間の通行止め。

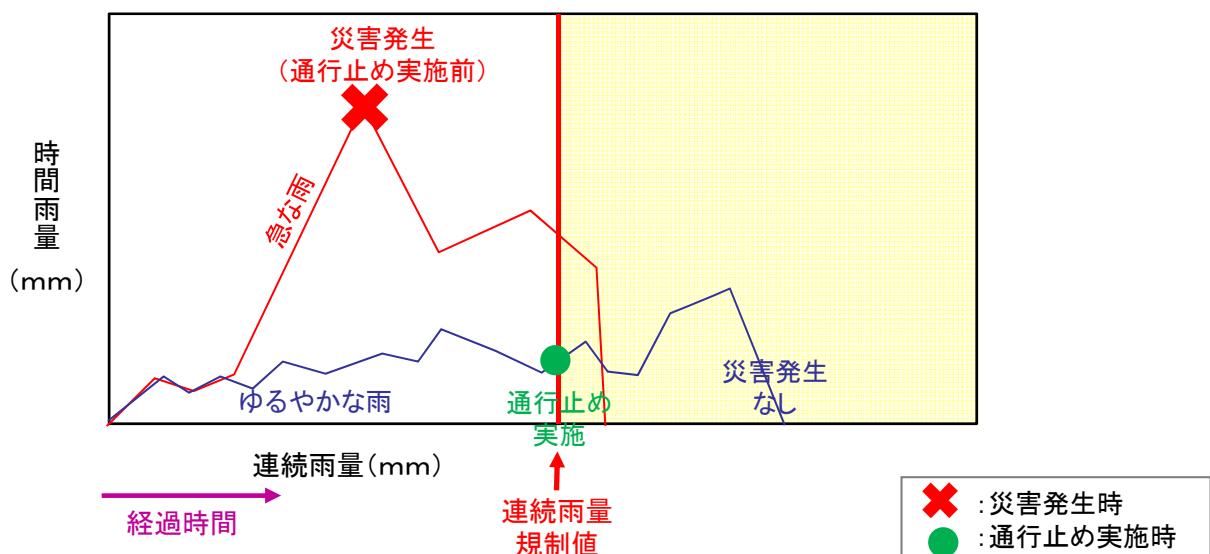


H26.8.20 国道54号 広島県広島市

- ・3時間降水量が観測史上最大となる217.5mmを記録。
- ・各地で土砂流出による災害が発生し、国道54号では、約15時間の通行止め。

1. 今までの雨量規制

- ・連続雨量(累積雨量)により雨量規制を行っており、ゲリラ豪雨等の局地的・集中的な大雨(時間雨量が大きい)に対しては、通行規制前に災害発生のケースもあり。
- ・一方、連続雨量規制値についても、経験的設定値であり、通行止めを行っても、災害発生がないケースもあり。



2. 時間雨量導入による雨量規制

- ・時間雨量を雨量規制に導入することにより、ゲリラ豪雨等の局地的・集中的な大雨に対しては、災害発生前に通行止め実施が可能。
- ・連続雨量規制値についても、適正化を行うことにより、通行止め回数の減少が期待。

